

3. 近年の主な洪水と浸水想定

木曽川

- ◆昭和58年(1983)の台風10号と秋雨前線により、戦後最大規模の洪水が発生し、岐阜県美濃加茂市、坂祝町及び可児市等で4,588戸が浸水するなど甚大な被害が発生しました。



勝山陸閘閉鎖の状況



昭和58年9月洪水(戦後最大規模)
美濃加茂市街の浸水状況

- ◆令和3年(2021)8月の記録的な豪雨により、坂祝町勝山地区において勝山陸閘を、一宮市起地区において起陸閘を閉鎖し、浸水被害に備えました。

長良川

- ◆昭和51年(1976)9月洪水により、約59,500戸が浸水するなど、安八町、大垣市(旧墨俣町)をはじめとする広い地域において甚大な被害が発生しました。
- ◆平成16年(2004)の台風23号により、戦後最大規模の洪水が発生し、床上浸水386戸、床下浸水277戸など大きな被害が発生しました。



水防団による水防活動の実施状況(月の輪工法)



平成16年10月洪水(戦後最大規模)
岐阜市福富地区の浸水状況

- ◆平成30年(2018)7月の台風7号と梅雨前線により、戦後最大の洪水である平成16年洪水以来14年ぶりに長良陸閘・大宮陸閘を閉鎖、また、島田地区・日置江地区においては、水防団が水防活動を実施し、堤防決壊のリスクを低減しました。

※ 木曽川洪水浸水想定区域図は、水防法第14条に基づき、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域として指定し、浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間等と併せて公表しているものです。
※ 設定条件等については、以下のウェブページをご覧ください。
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/shinsuisoutei/index.html>

➤ 揖斐川

- ◆ 昭和50年(1975)の台風6号により、戦後最大規模の洪水が発生し、万石地点において、観史上最高水位が観測されました。
- ◆ 平成14年(2002)7月の台風6号により、支川で内水氾濫が発生するなど、浸水戸数970戸の大きな被害が発生しました。



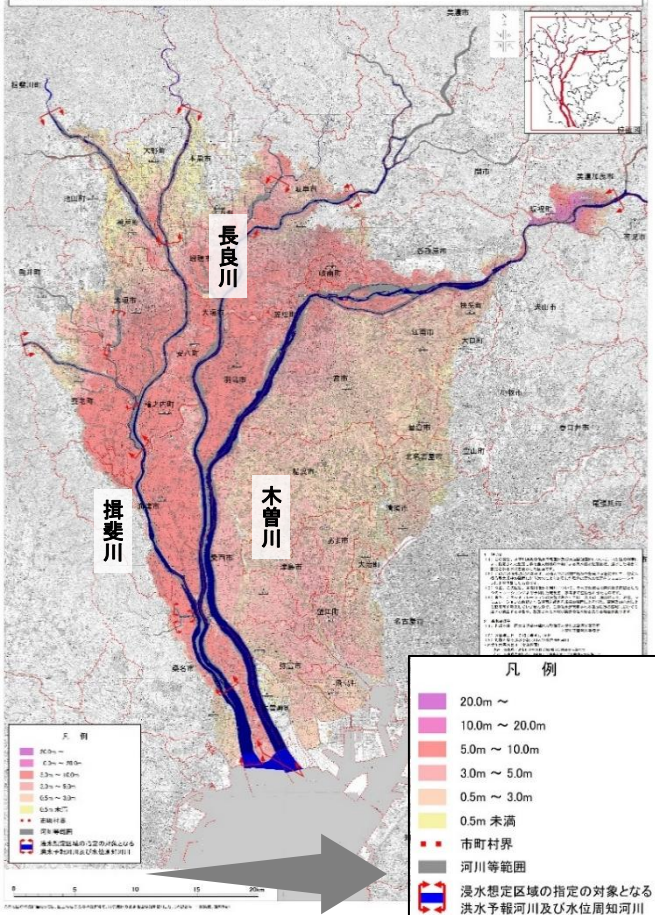
- ◆ 平成24年(2012)9月の洪水では、牧田川で漏水や河岸の洗掘が発生し、塩田橋地点において氾濫危険水位を超過しました。徳山ダム・横山ダムの連携した洪水調節により河川水位を低下させることで、浸水被害を軽減させることができました。

➤ 木曽三川における浸水想定

木曽三川において洪水が発生した場合、以下のような区域で浸水が想定されています。このような氾濫被害を軽減させるため、治水事業を行っています。(※下図は想定し得る最大規模の降雨による浸水)

洪水浸水想定区域

木曽川水系木曽川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川
洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



浸水継続時間

木曽川水系木曽川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川
洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

